

ひめまつ

51

宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

ひめまつ 目次 (第五十一号)

表紙絵……秋本有紀 題字……石川木魚 写真……写真部・編集部

随想 教育改革と本校の教育……………校長 須賀 淳 1

◆新しい一ページに (生徒会会長に就任して)……………齋藤やよい 4

◆改めて視野を広げる (任期を終えて思うこと)……………入江 令子 5

〔声〕 友達の一言……………6

教訓

やる気さえあれば……

親友

幸せを与える言葉

ナイス トライ

三年 蒲生 真菜実

三年 柴田 千加

三年 丸田 杏子

二年 釜井 絵美

二年 内藤 譲

大きな友達

心の鏡

与えることも

心の言葉

おはようの一言

二年 澤本 玲子

一年 築島 万実

一年 後藤 彰良

一年 柳田 美穂

一年 磯村 晃浩

一年 磯村 真美

*心に強く響くもの(校内読書感想文入賞作品)……………12

「舞姫」

「冬の花火」

「悪童日記」

「長崎の花―かよこ桜」

「二十歳の原点」

三年 宇賀神 多恵

三年 伊藤 香織

三年 神山 祐紀

二年 小野 真梨

二年 山神 純

「カモメのジョナサン」

「人間失格」

「雨のにおい星の声」

「宮澤賢治物語」

二年 町井 謡子

一年 吉新 拓世

一年 富岡 尚子

一年 川上 有香

◇作品集……………25

詩

〔三年〕松本 圭史・鈴木 勇司・加藤 敦也

〔二年〕加藤 裕子

〔一年〕廻谷 大樹・安納 夢美

短歌と俳句

〔三年〕茂田麻里子・生井由美子・浦野 麻衣

〔二年〕小出 友美・齋藤 智美・茂呂 利恵・加藤映理子

生澤 玲子・羽石 幸子・鈴木 千晶・田村 千絵

早乙女牧子・中里 和生・安部亜矢子・仲島真由美

印南 美和・新井 美江・飯塚 美江

☆あとらんだむ……………29

自由作品 〔三年〕勅使河原隆行・石黒 晴香

〔二年〕吉沢 康子

〈この一年を顧みて〉

(田二年) 藤塚 由記・篠原 義和・若林 幸子・近江 康代・添野 利絵・橋本 貴子
(田一年) 宮澤さおり・久保田 忍・山田 歩

月関西・四国・大洗・那須の旅

40

(三年) 望月 有子・小松奈緒美

(二年) 稲川 準子

(二年) 油井美沙子

招待席

佐藤みどり・和久 誠・杉山 雪彦・曳地 康将

45

〈特別寄稿〉 矢古宇 久恵

わがホームルームの紹介

55

委員会・クラブ報告

125

★学園告知板

134

附属中コーナー

146

この一年間のおもな活動

読書感想文コンクール入賞作品 (三年) 由木 晴花 (二年) 徳永 幸恵 (二年) 杉山 香織

自由作文入賞作品
生徒会活動・他

(三年) 福田 倫子

(二年) 佐々木美香

(二年) 佐山 愛

◎平成八年度生徒会活動の記録

160

☒就職状況

165

☒職員住所録

168

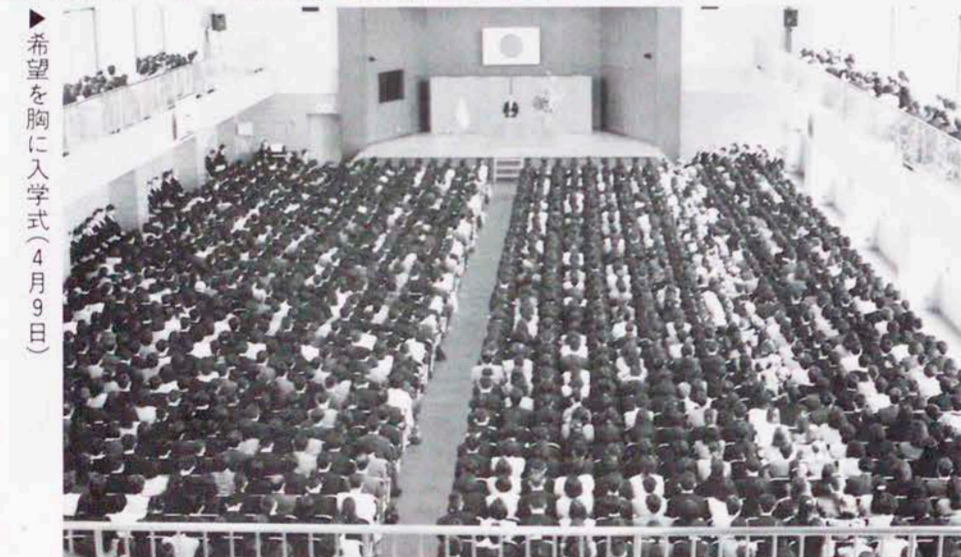
☒編集後記

174

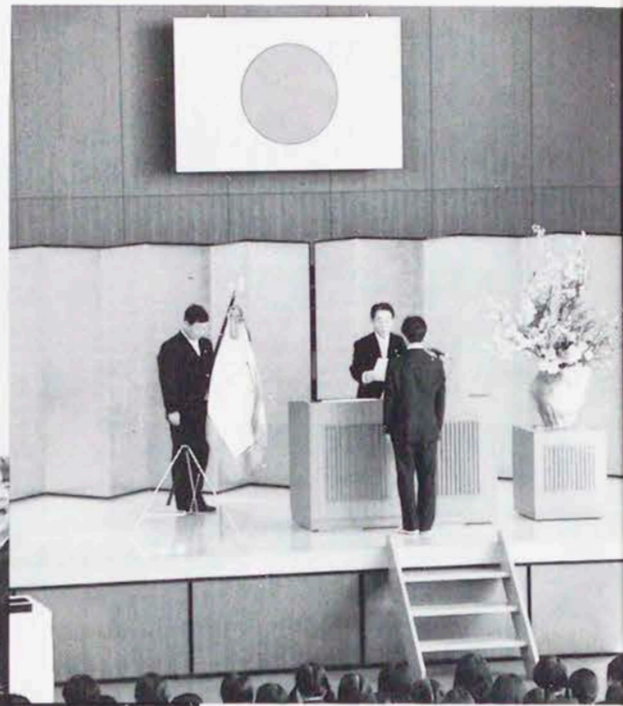
学園の四季



▲ハイ、チーズ/卒業式の後のひととき(平成8年3月2日)



▲希望を胸に入学式(4月9日)



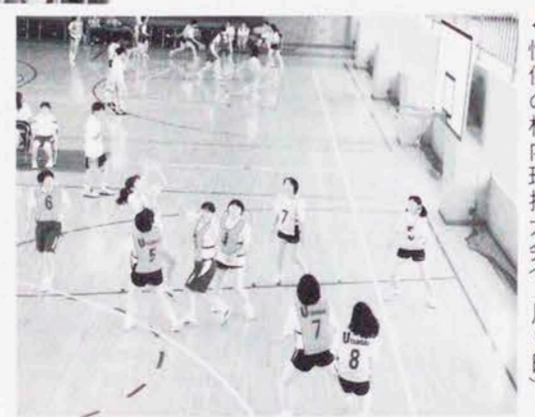
▲晴れの卒業式(平成8年3月2日)



▲完成した本館北棟を見て回る須賀校長先生(3月26日)



▲一日旅行で大洗海岸へ(5月14日)



▲恒例の校内球技大会(7月9日)

宇都宮短期大学附属中学・高等学校

校歌

作詩 菅谷徳次郎
作曲 野原幸夫

Musical score for the school song, including lyrics in Japanese and English.

ふに たらのたーかねをはるかにおーぎ
にわもにしーけれるひめまつこまーつ
まかなびのぬみちすおしまよきくろあすよと
かか たみにちーかいていそしみはけむむ
おしなびの(の)にーわここそげにとめつたけれ
あわ れとめうで たこーのまなびや

校歌

一 二荒の高嶺を 遙かに仰ぎ
学びの道筋 まさきくあれと
かたみに誓いて いそしみ励む
教への庭こそ げに尊けれ
あわれ尊 この学びや

二 庭面に茂れる 姫松小松
変わらぬ操は 千代万代と
かたみに祝いて いそしみ励む
学びの庭こそ げに芽出度けれ
あわれ芽出度 この学びや

大運動会

平成8年
10月26日



▲楽しいお弁当のひとつとき



▲栄冠はわれらに!!

▼生徒会役員による校旗入場



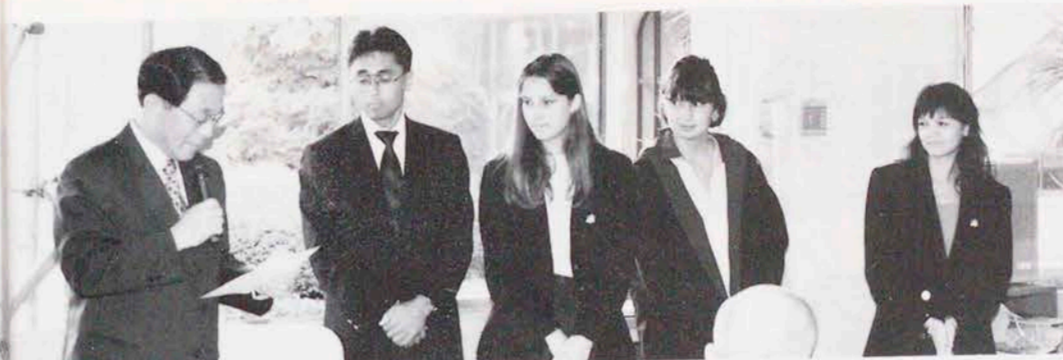
▲それいけ!!
若さ爆発



▲美しい男子生徒のフォーム



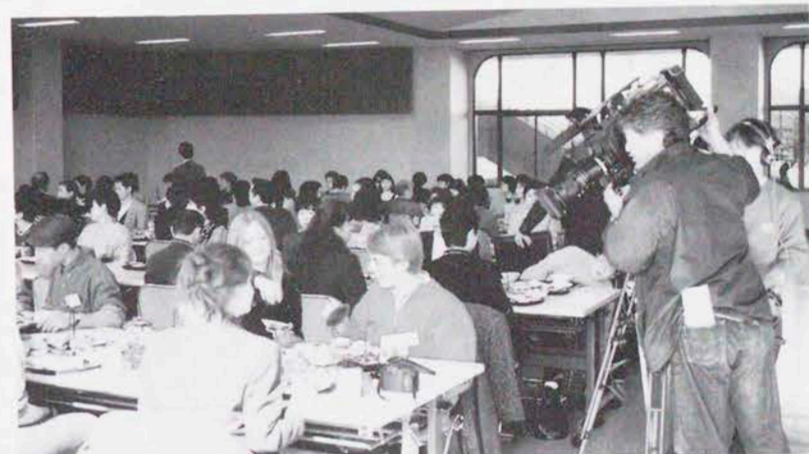
▲ワッショイ、ワッショイ、足並そろえてムカデ競走



▲校長先生から紹介されるオルレアン市の女性たち(10月3日)



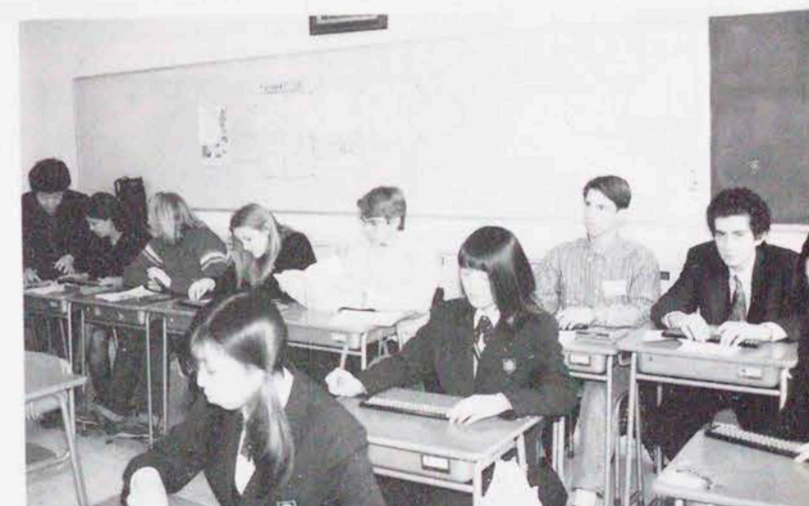
▲本校の生徒たちと交流をはかるオルレアン市の女性たち(10月4日)



▲保護者の試食会で共にテーブルを囲むヴォークリュースの留学生たちは、テレビで全国に紹介された(11月6日)



◀書道の体験学習をするヴォークリュースの留学生(11月7日)



▲机を並べて仲よく授業(11月7日)



◀日本料理と取り組む留学生(11月8日)



◀調理科の実習を見学する浙江省教育(6月26日)訪日団の先生たち

国際交流

平成9年度推薦入試 過去最高の受験生



受験生
12,000名

▲試験が終わって、みんなホッとした表情

▲試験場に入る前の緊張のひととき

▲地からやってきた大型バス

▲試験開始、日ごろの成果を発揮する時

生徒会役員

- | | | |
|--|--|---|
| 
副会長
椎名陽介 | 
副会長
田村千絵 | 
会長
齋藤やよい |
| 
庶務
山本 梢 | 
庶務
松本かおり | 
会計
畠 綾子 |
| 
議長団
樋口圭吾 | 
議長団
今村千尋 | 
議長団
大竹由希子 |
| | | 
会計
仲野乙希 |
| | | 
議長団
川部健太郎 |

随 想

教育改革と本校の教育

校長 須賀 淳 あつし



橋本内閣は、六つの改革を掲げて新発足しました。いまや行革、規制緩和、地方分権などの大合唱です。私たち教育関係者にとって、平成九年は六・三制という戦後の新学制が発足してから五十年という節目にあたりますので、教育改革に対する関心は大きいものがあります。

教育改革については、これまでも戦後の教育の問題点が指摘され、部分的な改正は行われましたが、教育の基本に関するような根本的な改革は行われませんでした。昭和四十六年の中央教育審議会のいわゆる四六答申にある学制改革の「先導的試行」もついに実施されませんでしたし、その後中曽根首相が、明治維新、終戦時の教育改革につく「第三の教育改革」を断行するのだと、力んで設置した臨時教育審議会（臨教審）でも、部分的な枝葉の改革に終わってしまいました。

国民が期待した臨教審においても根本的な教育改革ができなかった理由は、臨教審の設置にあたって、国会における与野党の折衝過程で、教育基本法の改正には触れないということを前提とすることになってしまったからです。したがって、六・三制という学校制度の変更はもとより、教育の内容についても、終戦直後アメリカ占領軍の指導のもとにつくられた教育基本法は、一字一句たりとも変更しないということになったのです。橋本内閣のもとで現在審議が行われている中央教育審議会においても、そのテーマは、中高一貫教育、入試制度、学校完全週五日制などで、目新しいものではありません。

このたびの教育改革について、わたくしの文部省の先輩である安嶋元文化庁長官が、最近の新聞紙上において、「今日の教育の欠陥は、規律とか節度という徳目が軽視されているところにある。これは従来マスコミ・学者・文化人・教組の反対してきたところである。」とのべています。また、作家の曾野綾子さんは、ロータリークラブの大会の記念講演で、日本の教育においては、「徳と勤労」が欠けていると強く指摘しています。さらに三浦朱門氏は、戦後の教育にいろいろ問題があるのならば、とりあえず一度もとの戦前の教育制度に戻して再出発してみてもどうかと大胆な提言をしています。この三人の方の発言には、まさしくわが意をえたりと大きな拍手を送りたい気持ちです。

ところで、わが宇都宮短大附属中学・高校の教育はどうでしょう。私は戦後の日本の教育の欠陥といわれる「規律」、「節度」、「勤労」といった徳目を、生徒の学校生活のなかで知らず知らず



全校生徒3,000人の規律正しい入場行進 (平成8年10月26日 秋季大運動会)

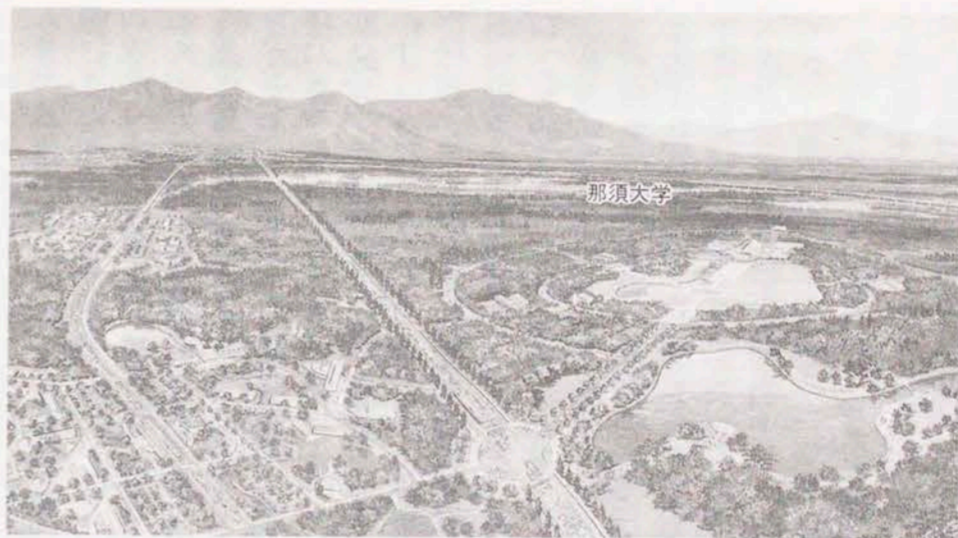
のうちに身につけさせようと心掛けています。この「ひめまつ」の巻頭のグラビア写真にもある運動会、卒業式、記念講堂における各種の行事、清掃、福祉活動等を見ても皆さんお分かりでしょう。そして「挨拶の励行」、「始業時の起立礼」、「終業時の黙想」、「皆勤賞・精勤賞」、「清掃の徹底」などの基本的生活習慣をしっかり身につけさせたいと常に指導しています。生徒の皆さんには少しきびしいと感じられることもあるかと思いますが、戦後五十年間、先生方の熱心な御指導は変わることなく、連続と続けられています。

私は、こんなことも人間形成の教育を徹底して、世界の人々から尊敬される日本国民を育成したいと念願しています。

【校長略歴】

昭和二十四年東京大学を卒業し、文部省に勤務する。
文部大臣秘書官、文化財記念物課長、初等中等教育局教科書課長、同初等教育課長等を歴任し、昭和四十三年に本学園に戻る。
現在、須賀学園理事長、宇都宮短期大学長、同附属中学・高等学校校長、日本私立短期大学協会常任理事、栃木県私立中学高等学校連合会会長、栃木県交響楽団会長、栃木県私立学校審議会会長等。

学園告知板



▲那須大学のイメージ

那須大学開学へ

須賀学園では、創立百周年を記念して平成十一年四月に黒磯市に那須大学（四年制）を開学することになりました。文部省や栃木県、それに地元黒磯市などの協力により目下その準備を進めております。このことは、昨年秋季に各新聞によって広く紹介されましたが、新しい大学は最近の社会システムの実践的な知識と外国語能力、情報処理能力を兼ね備え、情報社会に対応できる独自のな人材を育成するのが目的です。当初はわが国初の都市経済学部（都市経済学科）の定員二百名でスタートします。

また、時代の需要に対応するため、社会人や留学生の受け入れと三年次編入なども配慮され、社会に開かれた大学を目指しています。なお現地は、東北新幹線那須塩原駅

から車で約五分の便利な所です。敷地は二十ヘクタール、周囲は緑豊かな環境に恵まれています。

本館東棟四月に完成

昨年四月に完成した本館北棟（鉄筋コンクリート造りの四階建て、一般教室十六室）に引きつづき、この四月完成の予定で本館東棟の建築が行われています。すでに昨年秋季の学校新聞「若鮎」で紹介されていますが、計画によると、鉄筋コンクリート造り四階建て、延べ面積千三百七十一平方メートル。一階は玄関と応接ロビーおよび事務室、二階は理事長応接室と会議室、三階と四階は普通教室（六室）となります。とくに二階のアプローチは石張り、スムーズに車の出入りができるようになり、応接ロビーも広くてゆつたりしています。また、事務室も広くて機能的になります。

阿部PTA会長選ぶ

松岡前会長は相談役に
平成八年度PTA総会は五月十八日

須賀栄子記念講堂大ホールで開かれ、平成八年度事業計画案並びに決算報告などの議事のと、役員改選に入り、次の新役員を選出しました。また任期満了にもなつて退任された前役員の方々には感謝状と記念品が贈られました。

なお長い間、会長の職席を勤めてこられた松岡祐祥前会長は相談役として今後もご協力くださることにいたしました。

【新役員】

- ▽会長 阿部正昭（前中学PTA会長）
- ▽副会長 青木直樹（留任）、高橋禮司（留任）、菅又成雄（普通科後援会長）、齋藤幸雄（生活教養科後援会長）、安藤克己（音楽科後援会長）
- ▽会計 青木隆司（情報商業科後援会長）、尾上鉄男（調理科後援会長）
- ▽会計監査 遠藤義明（生活教養科後援会副会長）、金子敏子（情報商業科後援会副会長）、相久井保男（調理科後援会副会長）
- ▽相談役 松岡祐祥（前PTA会長）、篠崎キミエ（前PTA副会長）、田村昭夫（前PTA副会長）

▽常任委員 君島永晃 他五十三名

【任期満了役員】

- ▽副会長 我妻昇、實方克己
- ▽会計 江面庸夫、矢野利夫
- ▽会計監査 玉田俊二、佐藤実、香取保男
- ▽相談役 西川公也、六川彦次

国際交流盛ん

昨年は世界の西から東からお客さまが、いく組もいらつしやつて国際交流が盛んに行われました。

まず、六月には中国浙江省から訪日使節団として宇都宮市を訪れた黄新茂教育委員副主任先生ら四人が来校しました。

つづいて、十月にはフランスのオルレアン市から女性三人のお客さま、さらに十一月に同じくフランス・ウォークリューズの高校生セザール・ランジェル君ら男子二名女子二名に付き添いの女教師エウ・ドエベレ先生らの五人で四日間におわたつて本校で体験学習を行いました。

この模様はテレビ東京の「ウィーク

リー栃木」の電波に乗って紹介されました。

最後のお客さまは、ニュージーランド・ハウイックカレッジからのピン・シン・ヤン君（台湾系 男子十六歳）で、十二月二日から一月二十四日までの体験学習を通じて、本校のすばらしさに、ワンタフルを連発していました。

写真部が準優勝

高文連写真展で

平成八年度県高校総合文化祭の写真展で、本校写真部が見事団体の部で準優勝をかちとりました。

今回は「青春—光と影」のテーマにより、一校十名、一人三点という規則に基づいて、各校ごとに入選数を競いました。

本校写真部では、副部長の吉永智則君（二の一）と久保田忍さん（二の七）を中心に六名の部員が応募し、準特選三点、入選一点、佳作二点という好成績をおさめました。



▲準優勝に輝く写真部一同

写真部の久保田 忍さん(普通科二年)は昨年夏行われた「道のある風景」の全国写真コンクール(主催 建設省・関東建設弘済会)で佳作に入選しました。出品作品は昨年八月、茨城県下館市内の真岡線と自動車道路が平行している所で、今では珍しい自動車とクルマとの走っているタイミングをうまくつ

久保田さん(写真部) 佳作に

かまえたもの。

和久先生の写真展開く

学校新聞「若鮎」や生徒会誌「ひめまつ」の写真を撮ってきた編集委員会顧問の和久 誠先生の写真展が、去る六月十三日から十八日まで宇都宮市の東京電力栃木支店内にあるテブコ・ラ・フォンテ・アートギャラリーで開催されました。期間中会場は学校のPTA会員、卒業生・在校生など学校関係者をはじめ一般の来場者も多く、大へんにぎわいました。

展示された作品は、和久先生が昭和五十八年から平成七年までの十四年間に撮ってきた中から自選の三十点(モノクロ、全紙大)。四月の入学式から翌年三月の卒業まで、季節ごとの学校行事、授業、部活などで、学校の新旧建物や制服、運動着などの貴重な変遷の記録でもありました。

大垣君(調理科)最優秀賞に

平成八年度の産業教育振興会主催の

体験発表は十月九日、真岡工高で行われましたが、調理科二年大垣直巳君が最優秀賞となり、全国大会の県代表に選ばれました。

大垣君は、先きのご料理コンクールで日本一となりましたが、その体験のべたものでした。なお、NHKテレビ「首都圏からこんにちは」で広く紹介されました。

全焼の相田さん(二年)に見舞金

一年六組の相田真由美さん方で、去る五月七日あき、火災に見舞われて自宅百五十平方メートルを全焼するといふ不幸な出来事がありました。

生徒会では、さっそく全校生に見舞金を呼びかけたところ、一年一組の保護者から三万円の大口寄託をはじめ職員・生徒から三十八万円が集まりました。

生徒会の顧問の黒子 仁先生と役員が代表して出向き、この見舞金をお届けして感謝されました。

エピソード

永井さんご苦労さま

昨年二月二十三日午後四時ごろのことでした。学校近くの睦町交差点で、おばあさん(六八)が疲れ果てた様子で、道がわからないのか、ぼんやり佇んでいました。信号は次々と変わっていきませんが、一向に歩き出そうとしません。

たまたまそこに通りかかった下校途中の永井麻織さんと池永 梢さん(ともに当時二年二十組)が、それを目に留めて「道に迷っているのですか」「道がわからないのですか」と尋ねました。おばあさんの話では郵便局まで行つての帰りだが、足が不自由なところに、夕方の混雑時とぶつかったため、大へん困っているとのこと、自宅は長崎屋南側の住宅の人とわかったので、二人はおばあさんに付き添って、ゆつくり、ゆつくりおばあさんの歩みに合わせて自宅まで送りとどけてあげました。

礼状

お話はただ、これだけのことなのですが、この一部始終を見ていた通行人が、わざわざ学校に電話で知らせてくださいました。今の世の中は、あたりまえのことが出来ないもので、このような心あたたまる行為に感動したとのことでした。永井さん、池永さんご苦労さまでした。

平成九年度の入試説明会には、例年のように生活教養科の皆さんが心をこめておみやげをつくり、出席された中学校の先生方にさし上げました。

また、生徒会では敬老の日に、今回はボシエットを贈りました。ともに大へん喜ばれて沢山のお礼状をいただきましたが、その一部をご紹介します。

説明会

きょうは、すてきなパーパーウエイトをありがとうございました。男の先

生には申しわけなく思いましたが、学校にもどって、三年の女の先生と三人で分けました。机の上の書類のおさえに使いたいと思います。これからも勉強を重ね、すばらしい「世界人」になつて下さい。

藤原町立藤原中学校

和田 須満子先生より

三の十三

高橋 舞さんへ

初めまして、突然のことと、とまどわれていることでしょう。私は本日入試説明会でうかがった茂木中の教員です。秋の虫達の競演の如き、すばらしいケーキを本日いただきました。貴女が作られたとのこと。お礼までとペンをとった次第です。

一つのケーキで、豊かな時をすごさせていただきました。本当に有難う。お礼申します。

茂木中

大島 政春先生より

二の十五

石井妙子さんへ

前略
毎日勉強や実習に多忙な日々を過ごされている事と思います。

さて私は学習塾（明光義塾自治医大前教室）を経営していることから、昨日貴女の通学する学校の説明会に出席したところ、素敵なプレゼントをいただきました。箱の上に貴女の名前が記されてありましたので、さっそくこの文をしたためた次第です。

小さな花なのに色が鮮やかで、とても美しく印象深く心に残りました。そして、どのように作られたのか不思議に思いました。押し花を入れた型の中に、何かの液体を流し込んで固めたのでしょうか？

とても素晴らしい作品ですね。これからも貴女の才能を活かしてより多くの作品にチャレンジして下さい。

プレゼントにいただいた作品は、私の教室で特に一生懸命頑張って勉強している生徒さんにプレゼントしたいと思っています。

もし、できる事ならこの押し花のペーパーウエイトの作り方を是非教えてくださいませんか？

私は花が大好きで、部屋の中にも花を飾っています。全く会ったことのない、知らない貴女に突然無理なことを言っごめんさいね。
連絡をお待ちしております。
これからもたくさん作品を創作されますよう祈っております。

小山市三井川岸二八五の二二

高山 和枝 様より

一の十七

出井恵子さんへ

敬老の日

庭には紅や白の萩の花、女郎花、吾木香、芒等の秋の花の季節となりました。

御校生徒の皆様には身心共に健康やかに御成長なされておりますことと推察いたしお喜び申し上げます。

この度は、生徒会の皆様より敬老の日に当たり、貴重なお品をいただき皆様の美しいお心づかいに感謝の気持ちでいっぱいでございます。これから毎日の友として外出や旅行等に身につけて

て大切に愛用させていただきます。

本日に有難うございました。

生徒の皆様も御健康に気をつけて「燈下親しむの秋」「スポーツの秋」とか、勉強に打ち込むよい季節となりました。恵まれた環境で立派な諸先生方の御指導をすべてキャッチし、悔いのないすばらしい学園生活を送られれますよう、併せて生徒会の御活躍を心からお祈りいたし、お礼の言葉といたします。

平成八年九月十七日

下都賀郡石橋町下古山

七四四の三

片山 恒 様より

（中一の一片山裕史君の祖母）

時下益々御清栄の程お喜び申し上げます。

孫調理科一年二十六組 齊藤ひとみが大変お世話様になり、いろいろ御指導いただき有難く御礼申し上げます。

この度は敬老の日に当たり、心のもった贈り物を賜り厚く御礼申し上げます。毎日健康の為歩いておりますが、

万歩計と共に一緒に身につけて活用させていただきますと思います。本当に有難うございました。
生徒会の皆様の御健康と益々の御発展をお祈りいたします。
九月十三日

宇都宮市泉町二の二

齊藤 勇 様

齊藤 愛子 様より

生徒会様



校 史 と 校 章

21世紀の幕明けとなる平成12年は、本校の創立100周年にあたります。その記念事業として、平成11年には那須大学が開学の予定です。

本校は明治30年に須賀栄子先生によって創立されました。須賀栄子先生は、女子に最も適切な技芸を教授し、その時代と境遇とに順応すべき実際の婦人の養成を教育の主旨とし、共和裁縫教習所から、共和裁縫女学校、宇都宮須賀女学校、宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、発展させてゆかれました。その後を須賀友正先生が受け継がれ、学制改革により、宇都宮須賀高等学校となり、さらに、宇都宮短期大学を設置し、高校も宇都宮短期大学附属高校と改名されました。友正先生の後を受け継がれたのが、現校長先生でいらっしゃる須賀 淳先生です。先生は宇都宮短期大学附属中学校を設置し、ますます学校を発展させて、現在に至っております。

我が校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉の意味は、生徒一人一人が、それぞれに、本校生徒としての価値を知り、その価値を自覚することこそ、人間の大きな喜びであり、幸福への素材であるとし、学校はそのあり方を勉強する場であるというのが、須賀栄子先生のお考えです。私たちは現在、この言葉を胸に、本校生徒としての価値を認識し、生活しています。

本校には、現在に至るまで、いくつかの校章がありました。現在使われている校章の由来は、創立者須賀家の祖先が武士の旗印として使っていた、「ス」の文字を3つ組み合わせたものです。

「ひめま」第五十一号（非売品）
平成九年三月二日印刷発行

宇都宮市陸町一番三五号
宇都宮短期大学附属高等学校

編集人 顯 問 和久 誠

発行人 生徒会長 齋藤やよい

印刷所 宇都宮市鶴田町二三五九の一
ヤマゼン印刷株式会社

印刷人 山本 征一郎

発行所 宇都宮短期大学附属高等学校生徒会
〒320 TEL 〇二八(六三四)四一六一―三番